



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2006. 1 月号

2006 年のはじめにあたって



犬張り子

2006 年は博物館にとって、開館 30 周年を迎える特別な意味を持った年です。30 年という年月は、人間でいえば一世代を意味します。博物館も新しい時代に一步を踏み出す、そうした年にしていきたいと思います。

30 周年を記念して 2 月には「わたしと博物館」という冊子を刊行します。昨夏に呼びかけた募集に 200 名を超す方々が原稿を寄せてくださいました。そうした方々のお力添えで博物館の今があることを強く感じています。

また、その原稿を読みながら気づいたことがあります。学芸員へのたった一度の電話とか、ちょっとした質問に丁寧に答えてもらったというようなことが、強い印象となって残っているケースが想像以上に多いということでした。学芸員側からすれば、日常的にたくさん頂く問い合わせの一つとしてしか意識していないことが多いのですが、そうした場面も一期一会のものとして大切にせねばならないことを、改めて肝に銘じたことでした。

30 周年を記念した催しは他にもいくつか計画していますので、楽しみにお待ち下さい。今後の博物館のさらなる成熟に向けて、館活動を支援し、協働し、また温かい目で見守ってくださることをお願いいたします。

館長 浜口哲一

会場：特別展示室（入場無料）
「開館30周年記念展」

■展 示

第1期 「写真で見る博物館30年」展 18年2月11日（土）～3月12日（日）

・写真やポスターによって1976年の開館以来の博物館活動を振り返ります。

第2期 「博物館まつり」 18年3月18日（土）～4月2日（日）

・博物館で活動している会員制行事やサークルの活動成果の発表。

第3期 「コレクションで見る博物館30年」展 4月8日（土）～5月14日（日）

・人文自然各分野で30年間の活動の中で形作られてきたコレクションを紹介します。

◆その他の記念行事

○「博物館こどもまつり」

開催日：18年5月6日（土）および7日（日）

内 容：館の内外で、古代生活体験・自然観察・紙芝居・舞台裏ツアーなど小中学生を対象とした各種のイベントを集中的に開催します。詳しくは4月に発表します。

○ 記念出版物

「わたしと博物館」博物館と関わりを持った約200名の市民の作文集。2月刊行予定。

<博物館30年の歩み>

1966年 3月 市議会で教育文化センター用地の買収可決（現文化センター用地）。

1967年 2月 市議会で「文化センター基本構想」了承。

7～9月 文化センター建設の設計コンペによって、（株）丘設計事務所が入選。

1970年 4月 博物館建設業務担当主幹が配置され、博物館の本格的な準備が開始される。

1971年 4月 博物館建設準備室を設置。

5月 「博物館通信」を刊行。

10月 丘設計から「建築基本設計図」納品。

1972年 3月 （株）丹青社から「展示設計図」等が納品。

1974年 5月 自然観察会を実施。身近かな自然への注目を呼びかける。

8月 建築工事の開始。

8～12月 市内岡崎の上ノ入遺跡の発掘に博物館準備室全員で取り組む。

1975年 10月 建築工事が完成し準備室を館内に移転。

11月 館内での展示製作工事開始。

1976年 3月 「平塚市博物館の設置および管理に関する条例」制定。

5月平塚市博物館落成。館長 菅間荘、職員12名。

1977年 3月 「平塚市博物館年報」第1号刊行。

1978年 4月 博物館法による登録博物館として文部省より認可（神奈川県13号）。

7月 鶴見大学より初の博物館実務実習生を受け入れ。以降毎年15名前後を受け入れ。

1979年 8月 サマーセミナーが初の宿泊行事として平塚市七国荘で開催される

9月 入館者30万人突破。

11月 箱根町より仙石原出土の神代杉の寄贈を受け、運搬して屋外展示す

1980年 3月 天体観測用のドームが手作り完成。

1981年 3月 ガイドブックシリーズ刊行。1/相模川河口の自然、2/ローム層を探る。

6月 第一次常設展示替工事（55・56年度継続事業）のため1ヶ月休館。7月に一般公開。



昭和48年 建築中の博物館



初代のプラネタリウム投影機

1982年	3月	展示解説書「展示は語る」刊行。
	7月	文化センター公園の完成を記念して、文化センター祭りを開催。
1983年	8月	サマーセミナー開催（会場：天城湯ヶ島町「昭和の森・大川端キャンプ場」）
1984年	1月	移動博物館「平塚の野鳥展」「星を見る会」（会場：土屋公民館）
	11月	吉川代之助氏より全国の植物標本が一括寄贈。
1985年	4月	環境庁が呼び掛けた「緑の国勢調査」に博物館行事として参加。
1986年	1月	ハレー彗星観望会開催。参加者 645 名。
	4～7月	第二次常設展示替工事。
	7月	展示解説書「相模川流域の自然と文化」を刊行。
1987年	3～4月	第1回公募写真展を開催、応募総数 184 点。
	3月	入館者 100 万人目を達成。
	4月	相模川を歩く会を始める。以降7年間活動し山中湖までを歩いて往復。
1989年	4月	夜間の講座として「ナチュラリスト講座」を開始、4年間で33回開催。
1990年	7～8月	友好都市花巻市の協力で特別展「イーハトーブ花巻・くらしと文化」開催。
1991年	1月	天体観察会で環境庁の全国調査に協力して「スターウォッチング」開催。
	3月	平塚市美術館開館。これにともない、博物館も祝日開館を始める。
1992年	4月	第3次展示替えが完成し、新展示オープン。
1993年	3月	第2収蔵室に移動棚を設置。
1994年	3月	「相模川事典」を刊行。相模川を歩く会の会員が調査や執筆に参加。
1995年	7～8月	「44万7716本の軌跡－平塚の空襲と戦災－」展を開催。
1996年	2月	神奈川県が選定した「かながわの博物館100選」に選ばれる。
	5月	「20周年記念シンポジウム すべての町に博物館を」開催。
1997年	12月	特別展「平塚の星空写真展」開催。初めてCD-ROM付の図録を発行。
1998年	5月	2階常設展示室 リニューアル・オープン（第4次展示替え）。
2000年	2月	第1回博物館まつり開催。
	7月	夏期特別展「時代の先駆者 よみがえる村井弦斎」展開催。
2001年	7月	入館者数200万人達成。
2005年	3月	第5次展示替え。

今月のプラネタリウム（土曜・日曜 一般向け番組 2月5日まで）

2006年の天文現象から

2006年も穏やかに明け、今年のアストロ界はしぶんぎ座流星群からスタートしました。さて、今年にはどんな天文現象がおこるのでしょうか。プラネタリウムが得意のシミュレート機能を使って解説します。そのうちからいくつかをご紹介しますと、

★今年のアストロ界の特徴は、惑星が次々と話題に上ります。

- ・2月から金星が明け方の東天に明けの明星として輝きます。
- ・春は土星が見ごろになります・5月の初夏、木星が見ごろになります。
- ・11月9日、水星が太陽面を通過する現象が見られます。

★月が起こす現象も見られます。

- ・3月29日、月が太陽を隠す皆既日食が起こります。残念ながら平塚では見られませんが・・・
- ・9月8日に部分月食が起こり、月が地球の影にちょっこつと入ります。
- ・今年はずばる星がたびたび月に隠されます。最も見やすいのは、12月31日です。

★流星を見たいときは、三大流星群の活動時期がチャンスです。

- ・1月4日未明、三大流星群のひとつ、しぶんぎ群（りゅう座）が活動します。
- ・8月13日前後は、ペルセウス座流星群が活動し、12月14日前後にはふたご座流星群が活動しますが、どちらも月明かりがじゃまをしそうです。

博物館カレンダー

2006年1月の行事

1	4	水	☆	寄贈品コーナー歴史(～1/29)	展示室
1	5	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
1	8	日		古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 科学室
1	12	木		石仏を調べる会	特研究室
1	13	金		古文書講読会	講堂
1	14	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会	虹ヶ浜 野外
1	15	日	◎ ◎	水辺の楽校生きもの調べの会 ろばたばなし	水辺の楽校 展示室
1	18	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
1	19	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
1	20	金		古文書講読会	講堂
1	21	土		天体観察会「スターウォッチング調査」	屋上・科学室
1	22	日		相模川の生い立ちを探る会 天体観察会「スターウォッチング調査」	野外 屋上・科学室
1	26	木		石仏を調べる会	特研究室
1	27	金	◎	星を見る会「冬の星座星雲星団」 古文書講読会	屋上・科学室 講堂
1	28	土		星まつりを調べる会 空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ	科学室 特研究室 特研究室
1	29	日		民俗探訪会「博物館まつり準備」	講堂

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「平塚江南高校寄贈旧県立平塚高等女学校関係資料展」

期間：1月29日(日)まで

☆プラネタリウム

◎「2006年の天文現象」

今年は、どのような天文現象が私たちを待っているのでしょうか。惑星の見え方、月食など、見逃せない現象一年分を一気に紹介します。「一年の計」にお役立て下さい。

投影日：～2月5日(土)の土・日の午前11時と午後2時

観覧料：100円(中学生以下無料)

◎「1月の天文現象」

毎月第一土曜日午後は、当月の天文現象を紹介・解説します。

投影日：1月7日(土)午後2時

観覧料：100円(中学生以下無料)

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：1月14日(土)午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由(初めての方は往復はがきで申し込むこと)

2006年2月の行事

2	1	水	☆	寄贈品コーナー天文(～2/28)	展示室
2	2	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
2	3	金		古文書講読会	講堂
2	4	土	◎	漂着物を拾う会 天体観察会「カノープス」	虹ヶ浜 平塚海岸
2	5	日		古代遺跡を探す会 地質調査会	野外 科学室
2	9	木		石仏を調べる会	特研究室
2	10	金		古文書講読会	講堂
2	11	土	☆ ☆	春期特別展「30周年展1期」(～3/12) プラネタリウム「南半球の星空」(～4/9)	特展示室 プラネ室
2	12	日	◎	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
2	15	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研究室
2	16	木	○	展示解説ボランティアの会	特研究室
2	17	金		古文書講読会	講堂
2	18	土	◎ ○	星まつりを調べる会 自然の新聞を作る会	野外 野外
2	19	日	◎	相模川の生い立ちを探る会 ろばたばなし	科学室 展示室
2	23	木		石仏を調べる会	特研究室
2	24	金		古文書講読会	講堂
2	25	土		地質調査会 空襲と戦災を記録する会 地域史研究入門ゼミ 天体観察会	野外 特研究室 特研究室 屋外
2	26	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 民俗探訪会	プラネ室 講堂

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料)、○：申込制、◎：自由参加、無印：年間会員制

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：1月15日(日)(1)午後1時20分～
(2)午後3時～

場所：展示室民家

◎星を見る会

「冬の星座星雲星団」を観察します。

日時：1月27日(金)午後7時～8時30分
場所：屋上・科学教室

☆プラネタリウム休演のお知らせ☆

平成18年1月17日(火)～2月9日(木)まで、天文展示工事を行う予定です。

そのために、土・日の一般向けのプラネタリウム(1月21日・22日・28日・29日の4日間)を休演致します。小学校の学習投影については、工事の進捗状況によって、可能な限り対応します。

あなたと博物館 31巻10号 通算349号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/